

現代版 “ご当地ソング”

清水希容子

一般財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

ご当地ソングといえば、地方を唄うものは、郷愁を誘う演歌が多く、都会を唄うものは、人々の憧れを映すニューミュージックが多かった。しかし、最近、そのどちらでもない、地方と都会といった壁のない、自分たちの地元をそのままに唄うシンガーソングライターが増えている。

もともとご当地ソングとは、演歌、民謡、歌謡曲、ポピュラー音楽のタイトルや歌詞に、その土地の自然や都市がうたわれたもので、全国にたくさんある（地図参照）。

代表的なのは、北海道の襟裳岬や、東北の津軽海峡・冬景色、沖縄のさとうきび畑など。北海道は、雪、春の待ち遠しさ、東北は力強さ、沖縄は南国といった、唄となりやすいテーマがある。全国的なヒットになると、その地名は一躍有名になる。ご当地ソングを唄う演歌歌手のもとには、地方自治体から地元を唄って欲しいと依頼が殺到するという。

ニューミュージックでは、都会のおしゃれなイメージを唄っているものが多い。横浜のブルーライト・ヨコハマや、ユーミンの中央フリーウェイなど。青春ものでは、ワイルドワンズ、加山雄三、サザンオールスターズの湘南が定番だ。夜の繁華街では、伊勢佐木町、新潟、柳ヶ瀬、境港あたりからブルースが聞こえる。

最近のご当地ソングをのぞくと、カラオケで人気の女性シンガー aiko が出したアルバム最終曲のタイトルは、三国駅。彼女が大阪で一人暮らしを始めて上京するまで毎日通っていた阪急電車が舞台だ。あそこのボーリング場が、日常のワンシーンのように目に浮かんでくる。NHK 朝の連続ドラマ「ゲゲ

ゲの女房」の主題歌を唄った、いきものがかりのヒット曲 SAKURA には、小田急線の車窓からみえる、舞い散るさくらや大橋が登場する。彼らは、神奈川県厚木市と海老名市出身の同級生によるグループで、仲間と出会い、路上ライブを行っていた地元を大切にしている。

人々に親しまれる唄は、アニメのように瞬時のインパクトを与えはしないが、何度も聴くうちに自然とメロディーを覚えてしまう。一人で口ずさむこともできれば、スポーツ観戦時に広島で肩を組み、それいけカーブを唄ったり、同郷の会で北海道出身者が輪になって知床旅情を唄ったり、一緒になって唄うこともできる。そして、作った人、唄う人、聴く人のものから、みんなのもの、地域のものへとっていく。

もともと民謡がそうであるように、岩手では、北上夜曲を唄うコンクールが、小学生からお年寄りまで参加して開催されてきた。昭和10年代に生まれた大ヒット曲が、世代を超えて唄い継がれる。

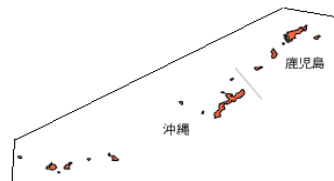
ご当地ソングを、電車の発車&接近メロディーに使う地域もでてきている。小田急線海老名駅のプラットフォームで電車を待っていると、先のいきものがかりの SAKURA のオルゴール音が流れてくる。

多くの若手ミュージシャンを育てた法政大学教授（元ソニーミュージックエンターテイメントプロデューサー）の増淵敏之氏は、「いつの時代にもご当地ソングがある。最近は、“自分たちの居場所”を唄う人気アーティストが増えている」と語る。

ご当地ソングは、未来に続く、地域の確かなコンテンツである。

ご当地ソング (ベスト3)

<p>鳥取 鳥取砂丘 ゲゲゲの鬼太郎 故郷</p>	<p>京都 女ひとり 京都の恋 竹田の子守唄</p>	<p>富山 風の盆恋歌 越中おわら節 はぐれコキリコ</p>	<p>青森 津軽海峡・冬景色 リンゴ追分 津軽じゅんがら節</p>	<p>北海道(南) 北海道(北) 襟裳岬 知床旅情 函館の女 霧の摩周湖 石狩挽歌 イオマンテの夜</p>
<p>島根 安来節 女泣き砂日本海 関の五本松</p>	<p>滋賀 琵琶湖周航の歌 番場の忠太郎 琵琶湖哀歌</p>	<p>石川 輪島朝市 金沢望郷歌 加賀の女</p>	<p>秋田 秋田音頭 ドンパン節 どじょっこふなっこ</p>	
<p>山口 関門海峡 長州の男 連絡船の唄</p>	<p>兵庫 そして神戸 六甲おろし すみれの花咲く頃</p>	<p>福井 東尋坊 ふるさと 越前岬</p>	<p>山形 雪の降るまちを おくりびと 花笠音頭</p>	
<p>福岡 無法松の一生 黒田武士(黒田節) 博多の女</p>	<p>岡山 中国地方の子守唄 桃太郎 山陽道</p>	<p>岐阜 長良川艶歌 奥飛騨慕情 柳ヶ瀬ブルース</p>	<p>新潟 雪椿 新潟ブルース 佐渡おけさ</p>	<p>岩手 北上夜曲 南部牛追い唄 望郷酒場</p>
<p>佐賀 佐賀県 玄海ブルース 玄海船歌</p>	<p>広島 安芸の宮島 一本の鉛筆 それ行けカーブ</p>	<p>長野 信濃の国 故郷 千曲川</p>		<p>宮城 青葉城恋唄 荒城の月 お立ち酒</p>
<p>大分 荒城の月 男の港 坊がつる讃歌</p>				<p>福島 会津磐梯山 白虎隊 みだれ髪</p>
<p>長崎 長崎は今日も雨だった 精霊流し 長崎の鐘</p>				<p>山梨 武田節 ふじの山 風林火山の唄</p>
<p>熊本 おてもやん 五木の子守唄 火の国の女</p>	<p>徳島 阿波踊り 鳴門海峡 祖谷の粉ひき唄</p>	<p>大阪 大阪で生まれた女 大阪ラブソニー 河内おとこ節 六甲おろし 大阪しぐれ 道頓堀人情 やっぱ好きやねん ふたりの大阪 月の法善寺横丁 王将</p>		<p>静岡 天城越え ふじの山 湯の町エレジー</p>
<p>宮崎 刈干切唄 ひえつき節 フェニックス・ハネムーン</p>	<p>香川 瀬戸の花嫁 金毘羅舟々 波止場しぐれ</p>	<p>和歌山 和歌山ブルース 串本節 YAPPA紀州</p>		<p>愛知 燃えよドラゴンズ 椰子の実 名古屋のひとよ</p>
<p>鹿児島 桜島 鹿児島小原節 薩摩の女</p>	<p>愛媛 この街で おいでや小唄 伊予の女</p>			<p>三重 伊勢音頭 伊勢湾 海の匂いのお母さん</p>
<p>沖縄 さとうきび畑 涙そうそう ていんさぐぬ花</p>	<p>高知 南国土佐を後にして よさこい節 男の一生</p>	<p>神奈川 ブルーライト・ヨコハマ チャコの海岸物語 箱根八里の半次郎 港町十三番地 よこはま・たそがれ 赤い靴 港が見える丘 勝手にシンドバット 思い出の渚 伊勢佐木町ブルース</p>		<p>群馬 いい湯だな 赤城の子守唄 八木節</p>
				<p>茨城 船頭小唄 水戸黄門「ああ人生に涙あり」 七つの子</p>
				<p>埼玉 秩父音頭 秩父やんせ なぜか埼玉</p>
				<p>奈良 奈良の春日野 平城山 ムジカ</p>
				<p>千葉 ミッキー・マウス・マーチ 大利根月夜 思い出の九十九里浜</p>
				<p>東京 東京音頭 銀座の恋の物語 あま上野駅 有楽町で逢いましょう 神田川 東京ナイトクラブ 東京ブギウギ 東京 東京だヨ、おっ母さん 新宿育ち</p>



* 合田道人氏「あなたのご当地ソング ザ・ベストテン！」(全音楽譜出版社、2010年)をもとに、(財)日本経済研究所にてベスト3地図を作成。地元アンケート結果にもとづいた筆者のランキングによる。東京、東京郊外、神奈川、大阪はベスト10まで。
* 当地図は、地域未来研究センター「地域データ図書館」のホームページで拡大してご覧になれます。